

アオサギ観察会

2018年4月20日

春の装い — 婚姻色 —



春はアオサギがもっとも美しくなる季節。胸や背中中の真っ白な蓑毛は長く伸び、くちばしや脚は鮮やかな婚姻色に染まります。

その変化は遠目にもはっきり分かります。一枚目の写真は子育ても終わりに近づいた頃に撮ったもの。この時期になると婚姻色はすでにすっかり消えており、お馴染みの黄色いくちばしに戻っています。一年の大半はこの落ち着いた山吹色で、婚姻色が現れるのは春先のほんの一時期だけなのです。

2枚目は巣づくりや求愛ディスプレイに忙しい春先に撮った写真。1枚目との違いは一目瞭然ですね。単色ではなく、付け根から先端にかけ、濃い



ピンク色からオレンジ色へと徐々に変化しています。ちなみに、婚姻色が現れるのは雄も雌も同じ。この鮮やかにくちばしで自分の魅力を異性にアピールしているわけです。

ところで、婚姻色に染まるのはくちばしだけではなく、目元の皮膚の露出部も鮮やかな青系統の色に変わります。すみれ色というのか藤色というのか、ともかく魅入られるような綺麗な色です。そしてこれらの色にきりっとした目の黄色が加わります。他の時期に見かける地味なアオサギに比べると、まるで熱帯の鳥のような派手派手しさです。



3枚目は、目の虹彩部分が朱色に染まったアオサギ。この色は求愛期間の中でもごく短い間だけ現れます。まさに婚姻色中の婚姻色と言えるものです。アリストテレスは『動物

誌』の中で、「アオサギは交尾時に目から血を流す」と書きます。きっと、この赤く染まった目を見てそう思ったのでしょうね。